

事後評価書（Ⅰ期）

平成29年4月1日

計画の名称	18 産業拠点へのアクセスを改善する道路整備												
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）					交付団体		牧之原市（静岡県）					
計画の目標													
大規模工場増設、工業団地造成による産業拠点の本格稼働に合わせ、通勤車両並びに製造部品納入トラック等の円滑な交通を確保するとともに、周辺道路の整備を行うことで、地域内の安全安心な交通を確保する。													
計画の成果目標（アウトカム指標）													
・ 産業拠点へ向う車両の分散化 ・ 産業拠点へのアクセス時間の短縮													
アウトカム指標の定義及び算定式													
交通結節点（東名高速道路相良牧之原IC及び御前崎港）から産業拠点入口までの走行時間の短縮 現況走行時間－完成後走行時間										アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値	中間目標値	最終目標値	
										(H21当初)	(H23末)	(H26末)	
										0 分	2 分短縮	6 分短縮	
全体事業費	合計 (A + B + C)	2,447 百万円	A	2,425 百万円	B	0 百万円	C	22 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		0.9%		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

有識者からの意見聴収を実施する。

事後評価の実施時期

平成28年度

公表の方法

評価完了後、市のホームページに掲載予定。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
18-A1	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 壱丁田北線	バイパス L=0.773km	牧之原市						1,505	
18-A2	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 大倉壱丁田線	バイパス L=1.545km	牧之原市						481	
18-A3	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	0.55	(1) 東萩間西原線【旧西原2号線】	道路改良 L=0.890km	牧之原市						353	
18-A4	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 萩間東西線	法面補修 A=600㎡	牧之原市						26	
18-A5	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 萩間東西線・蛭ヶ谷大橋	耐震補強 L=0.062km	牧之原市						33	
18-A6	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 萩間東西線【旧宮本追廻線】・宮本橋	耐震補強 L=0.020km	牧之原市						3	
18-A7	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	修繕	0.55	(他) 八十原仁王辻線・丸顔橋	剥落防止 L=0.048km	牧之原市						24	

合言

2,425

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
合計																0	

合言

C

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 效果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
18-C1	調査・計画	一般	牧之原市	直接		点検・計画	0.55	長寿命化修繕計画	橋梁点検・計画策定	牧之原市						22	
											合計					22	

合計

22

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
18-C1	橋梁の長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の削減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	

その他関連する事業																		
計画等の名称																		
番号	事業種別		交付団体						要素事業名		市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
計画等の名称																		
番号	事業種別		交付団体						要素事業名		市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		

A'	0 百万円	B'	0 百万円	C'	0 百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	0.9%
----	----------	----	----------	----	----------	---	------

2. 事業効果の発現状況、 目標値の達成状況					
Ⅰ アウトカム指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・(他) 壱丁田北線新設により、産業拠点への通勤車両や製造部品納入トラック等の交通が分散され、産業拠点周辺道路での渋滞が解消し、アクセス時間の短縮が図られた。 ・道路のバイパス整備により産業拠点への通勤車両並びに製造部品納入トラック等の交通が分散され、円滑で安全な交通が確保された。			
Ⅱ アウトカム指標の達成状況	産業拠点への アクセス時間 の短縮	最終目標	6 分短縮	目標と実績値 に差が出た要因	本計画の路線周辺の地域高規格道路 国道473号バイパスも整備されたことにより、更なる交通分散が図られ、目標を上回る走行時間の短縮となった。
		最終実績値	1 1 分短縮		
		最終目標		目標と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ アウトカム指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況 (必要に応じて記述)		・(他) 壱丁田北線新設により、産業拠点周辺道路の渋滞を抑制し、地域の生活環境の向上を図ることができた。 ・企業アンケート結果からも「朝の通勤移動時間が短縮された」「白井工業団地市道の混雑が減少した」との意見があった。 ・道路整備により道路の選択肢が増え、渋滞区間の走行車両等が減ったことで安全性が高まり、交通事故件数が削減された。 ・橋梁の補修・補強、法面補強により、被災時の避難経路や緊急輸送路が確保された。 ・(1) 東萩間西原線においては、歩道がなかった区間に歩道が設置され、安全な歩行空間が確保されるようになった。 ・道路混雑の緩和による自動車の速度向上に伴い、CO2、NOx、SPM排出量が削減された。 ・橋梁長寿命化修繕計画の策定により、橋梁の維持管理・更新に関する優先度を定めたことで、適切かつ効率的な維持管理の実施及びそれによるコスト削減が図れるようになった。 ・事業の投資効果(事後評価実施時期:平成28年) 壱丁田北線・大倉壱丁田線整備後(B/C)=1.24 壱丁田北線整備後(B/C)=1.59 壱丁田北線・大倉壱丁田線評価年時点(B/C)=1.30			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
・(他) 大倉壱丁田線、(1) 東萩間西原線【旧西原2号線】は事業を継続し早期工事完了をめざす。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づいて架替・補修を行い、安全安心の確保に努める。 ・(他) 大倉壱丁田線は、産業拠点から主要幹線道路へ直結するアクセス道路となるため、交通網の整備による走行性向上や輸送リスク低減が図られたため、工事の早期完了を目指す。 ・物流の円滑化がさらに期待されるため、産業拠点と交通結節点とのアクセス道路の整備や、現在検討されている整備事業区域周辺をはじめとした産業誘致などの施策の積極的な展開により、地域産業の活性化を図る。 ・なお、本計画期間である平成25年ではバイパス整備及び道路改良整備が完成せず、平成26年以降も継続して事業を行った。平成28年3月末に(他) 壱丁田北線の整備が完了し、平成28年4月に供用が開始されたため、事後評価を行うこととなった。					

